

国道15号・品川駅西口駅前広場の将来の姿

品川駅周辺地域は、新たな国際交流拠点の形成に向けて、道、駅、まちが一体となった都市基盤の整備を進め、「世界の人々が集い交わる未来型の駅前空間」を目指します

◆次世代型交通ターミナル◆

- 最先端のモビリティ（自動運転等）の乗降場を集約した次世代モビリティターミナルを配置



次世代型交通ターミナルのイメージ

◆開発計画と連携した複合（交通・防災）ターミナル◆

- 民間の開発計画と連携し、交通と防災を融合させた複合ターミナルを配置
- タクシー、ツアー系高速バス、次世代モビリティ等の乗り換えを可能に



バスタ新宿



横浜側から見た品川駅西口駅前広場の機能のイメージ

※将来必要となる機能をイメージしたものであり、整備内容を決定したものではありません

◆シンボリックなセンターコア◆

- 利用者動線の交差部には連携の拠点となるセンターコアを配置
- 交通結節の各空間を結ぶシンボリックな空間を形成



センターコアのイメージ

◆人々が集う賑わい広場◆

- センターコアの南側には、人々が集い、憩う賑わい広場空間を配置
- 有事の際には、防災拠点としても活用

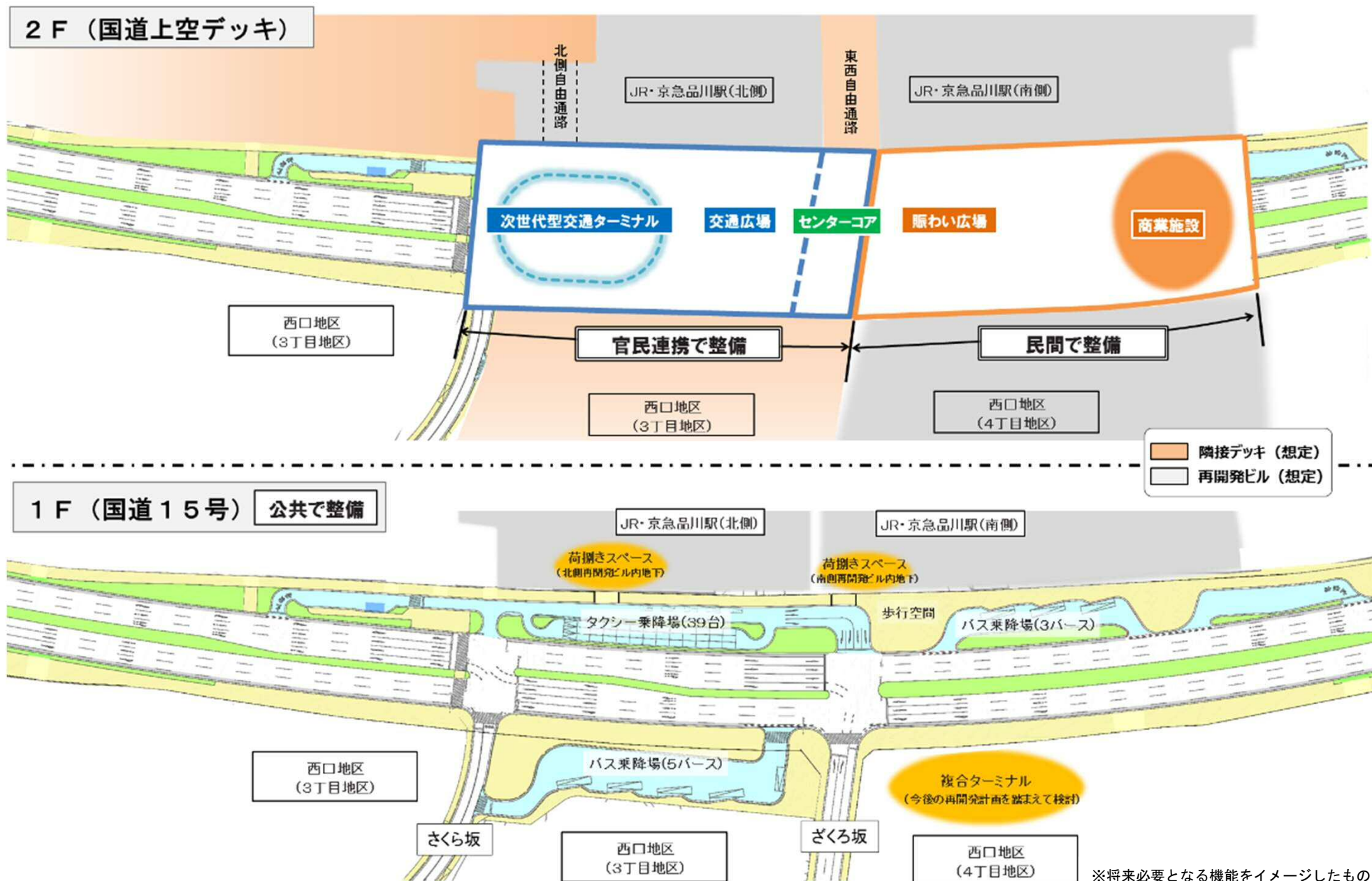


賑わい空間のイメージ

施設配置計画と官民の事業区分

1 階部分は、駅前広場の拡張により国道 15 号の「自動車交通を円滑化」

2 階部分は、上空デッキ等の官民連携整備により「歩行者の移動の円滑化」、「賑わいの創出」、「新たなモビリティの活用」



※将来必要となる機能をイメージしたものであり、整備内容を決定したものではありません。

事業スケジュール

リニア中央新幹線や周辺の再開発事業等のスケジュールを踏まえながら、道・駅・まちの一体化を実現していきます。

第1ステップ

【国道15号基盤整備事業】

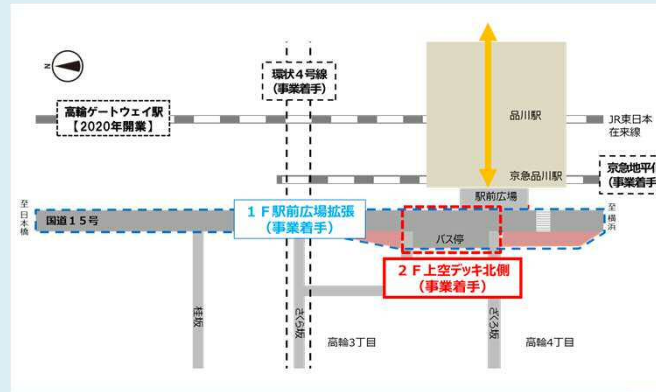
・事業着手

(地下鉄延伸計画との調整)

【鉄道関連事業】

- ・京急線連続立体交差化の事業着手
 - ・高輪ゲートウェイ駅開業(2020年予定)
- ### 【周辺再開発等】
- ・駅街区地区、西口地区、北周辺地区の事業着手
 - ・環状4号線の事業着手

[平面図]



[横断図](東西自由通路付近)



第2ステップ:リニア開業時(2027年)を目標

【国道15号基盤整備事業】

- ・2F上空デッキの北側部分の完成
- 1F駅前広場拡張の完成

【鉄道関連事業】

- ・リニア中央新幹線開業・京急線地平化の完了
- ### 【周辺再開発等】
- ・北周辺地区の一部まちびらき
 - ・西口地区の一部完了
 - ・環状4号線の一部開通

[平面図]



[横断図](東西自由通路付近)

＜デッキレベルで駅と街を直結＞



第3ステップ

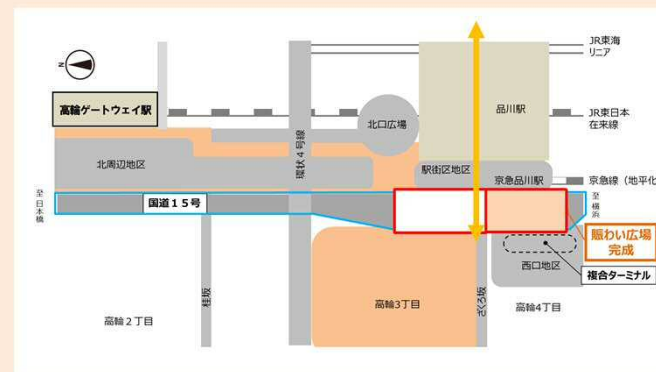
【国道15号基盤整備事業】

- ・2F上空デッキ南側部分の完成
- ・複合ターミナルの完成

【周辺再開発等】

- ・北周辺地区の完了
- ・西口地区の一部完了
- ・駅街区地区の完了
- ・環状4号線の供用開始

[平面図]



[横断図](東西自由通路付近)



(参考) 次世代型交通ターミナル

常に最先端の車両・技術・システムが体感できる、次世代型交通ターミナルを目指します

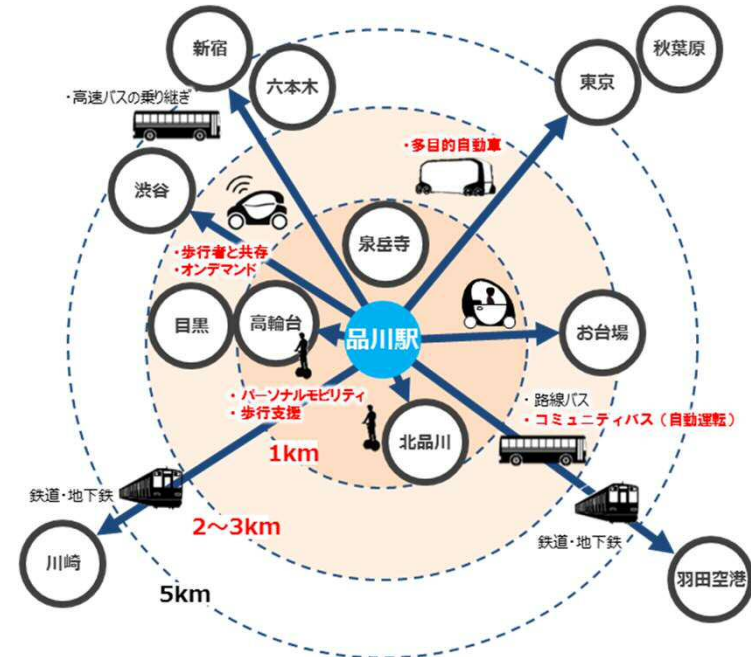
◆次世代モビリティを活用した移動

デッキ上の移動

モビリティと歩行者が共存するトランジットモール、集客施設及び交通拠点には、次世代モビリティの「デポ」を配置



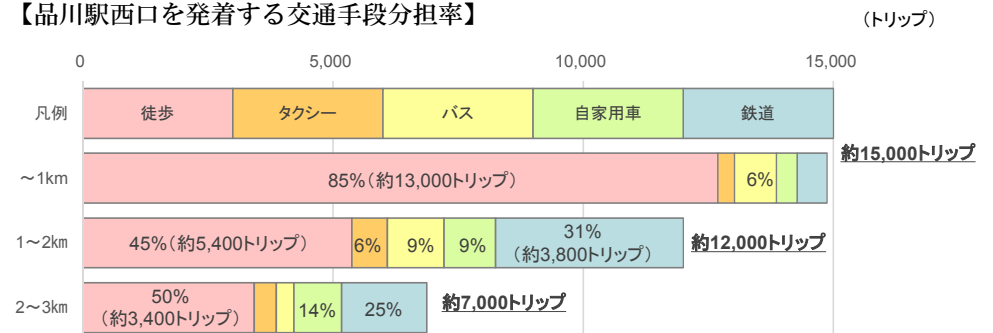
将来の広域移動のイメージ



(参考) 品川駅西口を発着とする交通手段の現状

- **1 km以内移動の約8割、2～3 km以内の約5割が徒歩で移動**
- 目的地までのラストマイルについて、新たなモビリティを活用することにより、利便性の向上が期待されます。

【品川駅西口を発着する交通手段分担率】



データ：第5回東京都市圏パーソントリップ調査（品川駅西口周辺＝品川駅西口を含む高輪1～4丁目）

